



# 森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園

## 3月園だより

令和2年2月26日  
園長 新井智子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666



<http://shiroka.nedai-kg.minato-kyo.jp/>

### <わくわく発表会>

#### 3歳児「はらべこあおむし」



「おふろにいられて」



#### 4歳児「やさしいおおかみ」

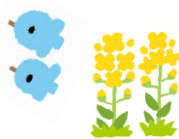


「ももたろうとなかまたち」



### 弾む春の音

園長 新井智子



道端にタンポポの花を見付ける頃になりました。タンポポは別名鼓草と言います。江戸時代「茎を切り裂いて水につけると反り返り、鼓のような形になることからこの名になった」との説があります。その鼓の音、タン・ポン・ポンが転じて子どもたちに親しみやすいタンポポの名前になったそうです。弾む鼓の音が、春の訪れを喜んでるように感じられます。

先日、年少組と年中組のわくわく発表会が行われました。それぞれ一年間の成長の様子を、劇や歌、合奏を通して感じていただけたかと思います。友達と同じ場で、登場人物になりきって楽しそうに動いたり、保護者に表現を張り切って見せたりする姿がありました。当日だけではなく、それまでに経験してきたことが、子どもたちの取組から感じられたのではないのでしょうか。また、仲間意識をもって一つのことを進めていく様子も見られ、成長を喜ぶ感想を多く寄せてくださいました。

今、修了を前に年長児がこれまで行ってきた当番や園の仕事の引き継ぎが行われています。誕生会の司会を手を添えて丁寧に説明している年長児。司会の後ろに小さく佇んで年中組の様子を見守っている姿ややりとりに成長と小学生になる自覚が見られます。

いよいよ弥生三月。年長児が春の森に見送られ、巣立つ時を迎えます。創造的な生活が営める自然豊かな環境の中で、同年齢の子どもたちと関わり、ものに関わり、事象を取り込み、たっぷりと遊び込んで、子ども社会を形成してきた三年間が修了します。これまでの経験を宝物にし、踏み台にして、大きく羽ばたいてほしいと願います。

一年間、保護者の皆様や地域の皆様には、温かなご支援とお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### <今月の指導のねらい>

#### 3歳児

- 自分のしたい遊びを十分に楽しみ、自分なりの思いを言葉や動きに出しながら、友達と関わって遊ぶ。
- 学級や学年の友達と一緒にいろいろな活動に喜んで取り組み、自分なりに伸び伸びと動く楽しさを感じる。
- 一日の生活の流れや身支度の手順などが分かって、自分のことを自分でする喜びを感じる。

#### 4歳児

- 自分なりのめあてをもって、繰り返し試したり工夫したりし、自分の力を発揮する喜びと満足感を味わう。
- 学級や学年のつながりの中で、自分なりに動いたり、友達の思いに気付きながら一緒に取り組んだりする。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備、当番の引き継ぎなどを通して、自分の成長を感じたり、進級への期待をもったりする。

#### 5歳児

- 友達と互いに認め合い、心のつながりや学級の一体感を感じながら、残り少ない園生活を十分に楽しむ。
- 幼稚園の思い出を振り返ったり、3・4歳児と関わったりする中で自分の成長に喜びを感じる。
- 修了に向けて自覚をもち、自信を高めながら、様々な活動に主体的に取り組む。



